

【国の怠慢 その6】

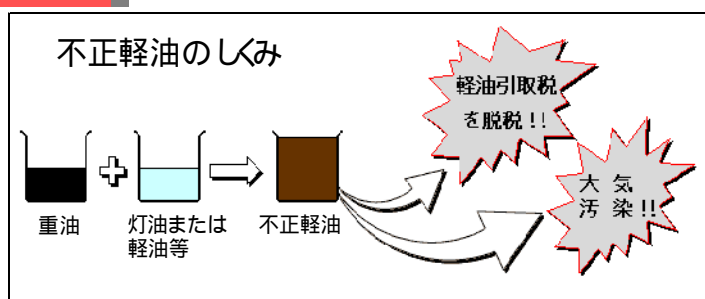
悪質な脱税の温床であり、 都民の健康を脅かす「不正軽油」の放置

重油に灯油や軽油等を混ぜて軽油と偽って使用される「不正軽油」は、脱税の温床となるだけでなく、PM や NO_x を通常より多く排出するうえに、その製造過程で発生する硫酸ピッチは健康や環境を脅かすなど、多くの問題があります。

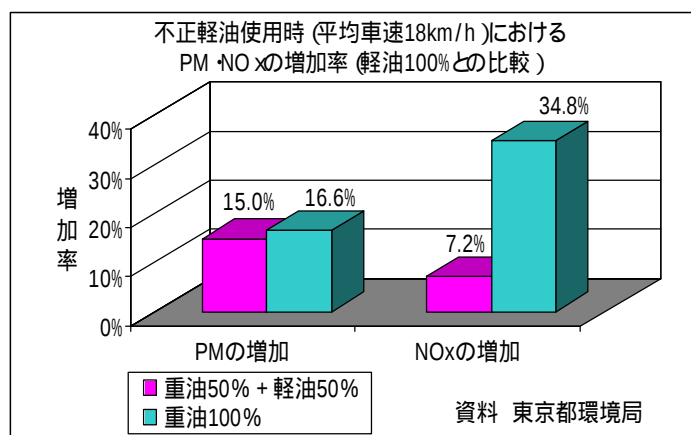
都は不正軽油の摘発を積極的に進めていますが、これまで国は全くと言っていいほど何の対策もとらず、不正軽油を放置してきました。国は、法律に不正軽油の製造禁止規定を設けるなど、抜本的対策をとるべきです。

健康や環境に悪影響を及ぼす不正軽油を放置

不正軽油（重油に灯油または軽油等を混和して、軽油と偽って販売し、軽油引取税を脱税したもの）を、ディーゼル車の燃料として使用することは、脱税の温床となるほか、健康や環境に悪影響を及ぼします。



2000（平成12）年、東京都環境科学研究所が、ディーゼルトラックに重油を50%混ぜた不正軽油を使用して排出ガスを測定した結果、軽油だけを使用した場合に比べて、呼吸器系疾患や発ガン性との関連が懸念されるPMが15%、光化学スモッグの原因にもなるNO_xが7%増加することが分かっています。



また、不正軽油の製造過程で、濃硫酸を添加して重油と灯油に含まれる識別剤「クマリン」を除去する際に発生する硫酸ピッチは、廃酸と廃油の混合物で、硫酸塩、硫黄分、アスファルト質などを含むタール状の物質で、異臭を放ちます。毒性をもつベンゼンやトルエンも含んでおり、野外に放置されたドラム缶などから漏れた硫酸ピッチに触れてやけどを負うことがあるほか、高濃度の二酸化硫黄（SO₂）ガスの発生による呼吸器障害、漏出による土壌・地下水汚染、全国各地での不法投棄を引き起こしています。

さらに、硫黄分を多く含む不正軽油は、粒子状物質減少装置の性能を阻害するなど、不正軽油の罪状は明白であるにもかかわらず、国は何の対策もとってきませんでした。

不正軽油の製造を禁止する国の法律がないのが最大の原因

自動車燃料の品質は、「揮発油等の品質の確保等に関する法律」で規制されていますが、この法律は規格外の燃料の販売を規制するのが目的で、規格品の重油が販売後に軽油と混和されてディーゼル車に使用されても、これを規制することはできません。

また、重油や軽油などの貯蔵施設に対しては、消防法で、定期検査が義務付けられ、立入調査もできますが、不正軽油の製造そのものを違法として取り締まることはできません。

地方税法には、混和等の事前承認を義務づける制度がありますが、不正軽油による脱税防止に対して全く機能していないため、広域かつ巧妙化している不正軽油の製造・販売の取締は困難となっています。

都は、不正軽油を根絶するため、都環境確保条例により不正軽油を燃料として使用・販売することを禁止するとともに、国に対しても不正軽油の取締や現行法の罰則の強化などを求めてきましたが、国からは、何の回答もありませんでした。

また、2003（平成15）年5月の都知事質問状に対する回答でも、国は「従前から取り締まりに努力してきた」などと、言葉だけの無責任な態度をとっていましたが、上記のような都など全国自治体の積極的な取組みなどによって、不正軽油の製造や硫酸ピッチ不法投棄の実態が明らかになったことなどを受けて、ようやく、硫酸ピッチの不法投棄対策について関係省庁連絡会議を設置することとしました。

これまで、国が不正軽油を放置し続けてきたのは、大きな問題だと言わざるを得ません。今後は、都などの自治体の努力に頼るだけではなく、国の責任で、不正軽油の製造禁止など、実効性のある抜本的な対策をとることが求められているのです。

〔コラム1〕

都は、率先してディーゼル車排出ガス花粉症への影響を明らかに

都は、ディーゼル車排出ガスと花粉症との関係を明らかにするため、2001年9月、疫学や環境科学、臨床医学の専門家などによる委員会を設けて独自に調査してきました。2003年5月、その結果を「ディーゼル車排出ガス花粉症に対する影響について新たな知見」として、公表しました。

- (1) ディーゼル車排出微粒子が、ヒトのスギ花粉症症状の発現や悪化に影響を及ぼすことが初めて分かりました。（国内初）

これまで動物実験では確認されていましたが、今回、試験管内で花粉症患者の血液中にディーゼル車排出微粒子（DEP）を添加したところ、ヒトのスギ花粉症症状を引き起こしたり悪化させたりする物質を増加させることが、初めて分かりました。

- (2) 妊娠中にあびたディーゼル車排出ガスが、生まれた仔に影響することが初めて分かりました。（世界初）

ラットを用いた研究で、免疫機能が未発達段階にある胎仔期や哺乳期にディーゼル車排出ガスを浴びると、仔ラットがスギ花粉症を起こしやすい体質になることが初めて分かりました。

